

令和元年度第1回 青森市障がい者自立支援協議会 議事要旨

日時 令和元年5月15日(水) 14:00~16:00

場所 青森市福祉増進センター(しあわせプラザ)3階 大会議室

出席者 (委員) 石田会長、西村委員、工藤(縁)委員、蠣崎委員、佐藤委員、中村委員、津川委員、今委員、村岡委員、今村委員、岡田委員、野呂委員、木村委員、田中委員、藤川委員、谷川委員、狭間委員、工藤(昭)委員、長谷川委員(19名)

(事務局) 福祉部 館山部長、福井次長
障がい者支援課 金澤課長、佐藤主幹、佐々木主幹、高木主幹、笹原主査、長澤主事

1 開会

2 福祉部長あいさつ

<福祉部長からあいさつ>

3 委員紹介

4 事務局紹介

5 報告事項

(1) 今年度の協議会の進め方について

<障がい者支援課 事務局から資料説明>

意見・質問等なし。今年度の日程案は、事務局案のとおりとする。

(2) 各部会からの報告事項について

<平成31年2月13日開催の平成30年度第4回全体会以降の各部会の活動内容を各部会のリーダーから報告>

(委員)「精神障がい者地域生活支援部会」では、今年度の実施計画について話し合った。

ピア活動については、活動の場を作るため、地域活動支援センター、精神科デイケア、自立訓練事業所などに声がけをし、各事業所でどんなことが出来るのか、といった話をしていきたい。今後、事業所の方に来ていただいて話をし、その意見を踏まえ、どういう風にやっていくかについては、以前ピア活動に興味のある当事者に来ていただいて話を聞かせもらったが、またその方たちをお呼びして、具体的な話をまとめられればと考えている。

金銭管理についての課題を、金銭管理を行っている地域の事業所から話を聞いたかと思っており、今日の部会で話を聞く予定となっている。

アンケートについては、内容を整理しきれておらず、ボリュームがありすぎるとい
うことで削る作業をしており、シンプルなものにして中身を精査した上で、手帳の更新
時にお知らせし、実施したいと考えている。

(委員)「みんなの未来部会」では、障がい者の生活や特性を理解してもらうための活動
を中心に取り組んでいくこととなった。

当事者側として防災に関する取り組みを考えていくことを続けていく。昨年度の
部会での話、行政からの防災講話等を踏まえ、避難時における支援者の担い手不足、
障がい者が住んでいるところの把握が難しいという課題が挙げられた。また、地域
住民として、当事者自身が何をできるのかを考えることも重要ではないかとの意見
が挙げられた。災害時、自分自身の身を守るにあたり何が必要かを知るために、災害
現場に行ったボランティアの方や防災の取り組みを積極的に行っている町会の方から
話を聞く機会を設けたい。今年度は、当事者として自分で出来ること、支援してもら
うと助かることをまとめられたらよいと考えている。全体会で検討をしてご意見をもら
えればと考えている。

障がい者の特性を理解してもらう活動を続けていきたいと考えており、昨年度の
東奥学園高校で行ったような活動を今年度も行いたい。また、障がい者週間のイベ
ントに協力ができたらいいのではという意見があった。

(委員)「就労支援部会」では、昨年10月に自立支援協議会として就活セミナーという
ことで相談会のイベントを開催したが、その振り返りを中心に行った。イベント
終了後の反省会等を行っていなかったもので、今後、部会で集まって就労移行支援
事業所の皆さんにも入っていただき、反省的なことをしながら、次のことを検討した
方がいいという意見であった。

昨年度、部会にハローワーク青森の方にオブザーバーとして参加してもらったこと
があったが、その後、ときおりアドバイス等をいただいたが、協議会、部会は主体性
をもって計画的に進めていく必要があるだろうということで、そういったところにつ
いてもご意見をいただいた。

昨年開催したイベントについては、制度を知っていただくいい機会であったので、
これからも前向きに検討していったほうがいいのではないかと、といった意見があげら
れた。

6 各部会での話し合い及び各部会からの報告

(1) 各部会からの報告

<協議内容を部会リーダーから報告>

(委員)「精神障がい者地域生活支援部会」では、障がいのある方の金銭管理支援につ
いて、青森市社会福祉協議会と2つ地域活動支援センターの方に来ていただき、どのよ
うな形で実施しているかをお聞きした。三者三様であり、地域活動支援センターに関
しては、二者とも支払い代行など、細かいところまで行っているというお話しであった。

どこも金銭管理支援にかかる業務量がこれ以上増えるのは、厳しい状況であるとのこと。事業所ごとの金銭管理の方法については、支援者も知っておいた方がいいと思うので、今日参加したいただいた事業者さんの協力を得ながら、何らかの形でまとめた上でお知らせしていければと思っている。

(委員)「みんなの未来部会」では、防災については、今後も話し合いを続けていく中で、民生委員や相談支援専門員といった支援者の方々の意見を聞きたいので、全体会で取り上げていただきければという話であった。

現在改装中の青森駅の段差やトイレがどうなるのかが心配なので、行政からどのような形で改装をするのかを問い合わせしてもらいたい。

介護タクシーは車種によっては、乗り降りしづらいものがあり、運転手や介護する方に障がいの理解をしてもらいたい。そのためにはヘルプカードやヘルプマークの理解が重要だと思うので、行政からタクシー協会へ理解を求めるような動きをお願いしたい。

障がいのある方の日常生活で困っていることについて、まとめたいということになった。この部会の委員には各団体のリーダーがいるので、団体の仲間の経験談を集めてきてもらい部会でまとめていきたい。

(委員)「就労支援部会」では、昨年度までの活動状況の振り返り、及び今年度の計画の主にこの二つについて話し合った。昨年度までの取組については、平成28年度に「就労支援部会」ができたが、そこから今までどういったことが協議されてきたかを情報共有した。地域課題として協議してきた中で、例えば事業主支援については、市の経済政策課で積極的な取組が始まったので、部会として取り上げなくもいい、ということとなった。

昨年度実施した相談会については、今年度、協力していただいた就労支援事業所を集めて反省会を開催し、次回開催に向け、ターゲットや時期、周知方法を話し合っていくこととした。

今年度は年間の部会のスケジュールを決めて、委員が集まり協議できる体制をつくり、それぞれの部会の開催で何をやるのかを確認した。

(2) 部会に参加した委員の感想・意見

(委員)「精神障がい者地域生活支援部会」では、金銭管理について話し合ったが、自身とても難しいと感じることが多い。特に病気によってお金がうまく使えない歯がゆさがある。お金の不自由な使い方をして、自分も失敗をしているので、今回の部会の中で、地域活動センターや相談支援事業所の方にお話を聞けてよかったと感じた。

(委員)「みんなの未来部会」では、防災、ヘルプカード等について話し合った。それらの問題は身近な問題であるので、皆さんと一緒に協議を進めていきたい。

(委員)今年度青森に赴任して、本日初めて青森市の自立支援協議会に出席した。全国の職業センターを転勤している中で、自立支援協議会の委員として出席するのは

青森市で3箇所目である。これまで前任の札幌市、盛岡の圏域に出席しており、各地域で課題になっていることが様々違っていると感じた。いろいろなところでの取組を共有し、地域の就労に関して、どういうところを活性化し、地域の皆様が利用しやすいサービスを提供できるような体制をつくっていったらと思う。

(3) オブザーバーの方の感想

(オブザーバー) サンネット青森副理事長でもある委員から自立支援協議会での話は聞いていたが、わかるようで分からないところもあるので、実際に狭間委員が頑張っている場を共有したいと思って参加した。自立支援協議会は、地域の福祉を作っていく上で核になっていく集まりだと思うので、今後の皆様の活躍をお祈りする。

(オブザーバー) 現在、つくしが丘病院で実習させていただいており、今日は「精神障がい者地域生活支援部会」での話を聞いた。実習に行き日にはたっていないが、よく実習でワーカーと利用者等の連携の中で、金銭管理の話をしているのがとても印象に残っている。今回、部会で障がいのある当事者の話を聞いて、改めて障がいのある人にとって、金銭管理は課題となっていると感じた。これからの実習していく中で、今回学んだことを活かしながら、金銭管理について、もう一度考えていく必要があると思った。

7 その他

<会長からのお知らせ>

「多世代交流(地域共生)カフェ in 青森県立保健大学」のご案内をさせていただきます。こちらは青森県立保健大学の社会福祉学科が中心となって、大学として地域とたくさん交流していこうという初めての企画で、いわゆる認知症カフェの拡大バージョンということで考えている。地域の方や障がいのある方、認知症の方やその家族の方など、いろんな方に大学に来てもらい、学生にいろんなことを話してもらったり、地域包括支援センターの方に講話してもらったり、堅苦しくなく、みんなが参加できて、おしゃべりできてという企画である。6月21日の13時30分くらいから15時ごろまでを予定している。どなたでも参加できるので来ていただけたらありがたい。

8 閉会